

# 東京大学大学院人文社会系研究科 次世代人文社会学育成プログラムによる海外派遣 研究報告書

## 研究課題

インド・ジャイプル市サワイ・マン・シン2世博物館所蔵梵語写本の調査研究  
現地公用語 A Research on rare Sanskrit Manuscripts collected in Sawai Man Singh II  
Museum, Jaipur, India

氏名 加藤 隆宏 (かとう たかひろ)

派遣カテゴリー 平成24年度夏学期個人派遣：助教

## 渡航先の基本情報

研究機関名 マハラジャ・サワイ・マン・シン2世博物館  
Maharaja Sawai Man Singh II Museum, The City Palace  
国名・都市名 インド・ジャイプル市  
Jaipur, India

派遣予定期間 平成24年9月1日から平成24年9月19日まで

## 研究の経緯と成果について

本研究は、インド・ジャイプル市にあるサワイ・マン・シン2世博物館において、同博物館所蔵の貴重梵語写本について調査を行うことを目的とするものである。

報告者は、ここ数年来プロジェクト「バースカラ研究」に取り組んできた。これまでの主な仕事は写本を用いてバースカラ著『ブラフマストラ註解』を校訂することで、これまでインド国内、あるいはイギリス、ドイツで調達した写本7本を照合し終え、これに1915年に出版された初版とシカゴのインド学者故ファン・バイトネン教授の遺稿に残された写本の異読情報を加え、全く新しい校訂批判版をすでに完成させつつある。

今回の調査の主な目的は、2009年に行った同様の調査で新たに発見され、2010年の再調査で特にその重要性が明らかとなった、インド・ジャイプル市サワイ・マン・シン2世博物館所蔵の梵語写本（以下、Jai<sub>1</sub>）の照合作業を行うことである。

2009年の調査で再確認された梵語写本は以下3点ある。

1. *Śārīrakamīmāṃsābhāṣya* of Bhāskara, a paper MS. from the Maharaja Sawai Man Singh II Museum. MS. no. 5789, Jaipur. Complete.[Jai<sub>1</sub>]

2. *Śārīrakamīmāṃsābhāṣya* of Bhāskara, a paper MS. dated AD 1779 (*Samvat* 1836) from the Maharaja Sawai Man Singh II Museum. MS. no. 5966, Jaipur. Complete.[Jai<sub>2</sub>]
3. *Śārīrakamīmāṃsābhāṣya* of Bhāskara, a paper MS. in *devanāgarī* from the Maharaja Sawai Man Singh II Museum. wrongly inserted in MS no. 5789 (Jai<sub>1</sub>). Incomplete, from II.3.12-II.4.12. [Jai<sub>3</sub>]

これら新たに所在が確認された重要な写本について、報告者はこれまで所蔵図書館に複写を願い出てきたが、図書館の規約上複写は許可されず、閲覧のみを許されてきた。2010年に行った再調査では、これら3写本のうち、Jai<sub>1</sub>がその他の多くの写本とは別系統に属するもので、非常に多くの異読情報を提供するものであることが分かった。同調査では、15フォリオ程度の異読情報をノートしてサンプルとして持ち帰り、詳しく検討したところ、Jai<sub>1</sub>が最も古い伝承を保持するものである可能性が高いことが判明した。

今回の調査では、この重要写本であるJai<sub>1</sub>に関して、現地図書館の閲覧室で照合作業を行うというもので、移動日や閉館日などを除く14日間で50フォリオ程度を照合することを目指した。トラブルやアクシデントのため、実際に作業ができたのは10日間であったが、当初の予定を上回り、全262フォリオ中82フォリオを照合し終え同図書館での調査を終了した（別紙サンプルを参照）。

作業は予定よりも早く終了したため、帰路途中のデリーに立ち寄り、インド国内の梵語写本デジタル化プロジェクトの中核である Indira Gandhi National Centre for the Arts を訪ね、デジタル化プロジェクトに携わる Advaitavadini Kaul 博士と面会し、現在のプロジェクトの進捗状況などについて聞き取り調査をした。

### 今後の課題

今回は短い滞在にも関わらず、Jai<sub>1</sub> 写本全体の三分の一を照合することができた。今後も機会を見つけて残り三分の二を照合し終えたいと思う。今回照合した写本の異読情報などは、報告者が作成中の『ブラフマーストラ・バースカラ註解』に既に反映されている。（別紙のサンプルを参照）今後、収集した情報をもとに、Jai<sub>1</sub> 写本とその他の写本との関係などを整理したいと思う。

また、今回調査を行ったサワイ・マン・シン2世博物館には、*Bhṛtabhāskarasāra* というタイトルの付けられた、『ブラフマーストラ・バースカラ註解』の要約版ともいえるべき写本が所蔵されており、この写本についても今後調査を続け、『バースカラ註解』との関係などについても探っていきたい。